

日ト発第116887号

平成30年 8月 6日

会 員 各 位

一般社団法人日本トンネル技術協会
事業委員長 入 江 健 二

公印略

第4回トンネル技術者のための地相入門講習会のご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃から本会事業活動には種々ご支援賜り誠に有り難うございます。

トンネル工事において、地相(地形)を読み、山の性状(地質)を知ることは、合理的な工事の成否に関わる重要な要件です。地表面の地相(地形)は、少なからず地山の性質を反映しており、計画の段階では、最も大切な情報の一つとなります。また、工事が始まってからも地相(地形)と切羽の状態を常に把握・理解しておくことは、工事の安全や工程確保等に関わる重要な作業です。

このたび、会員の皆様の要望により第4回トンネル技術者のための地相入門講習会を開催することといたしました。

トンネル工事における地形・地質を理解するうえで、有益な資料「トンネル技術者のための地相入門」を基に、トンネル経験5~10年程度の中堅技術者を主な対象とし、実学としての講習会を実施します。講習では、地形図を用いた地形・地質情報の基礎的判読技術、主な地形種ごとの特徴と事例解説による地形・地質情報の利用技術、計画路線周辺の地形・地質情報の利用技術等についての講義ならびに実習を行います。

本講習会は、路線計画、施工管理に携わる技術者はもとより、トンネル建設・維持管理に携わる技術者の皆様にとりまして、地形・地質の基礎的知識を習得する大変有意義な講習会と存じますので、多数ご参加くださいますようご案内いたします。 敬具

記

1. 開 催 日：平成30年11月19日(月)
2. 会 場：日本印刷会館、2階会議室
住所：〒104-0041中央区新富1丁目16番8号(別紙案内図参照)
3. プログラム：別紙のとおり
4. 定 員：40名(定員になり次第締め切りさせていただきます)
5. 参 加 費：個人会員 15,000円、団体会員 17,000円、一般 20,000円(昼食代、テキスト代を含む。)
6. 申込方法：下記申込書に氏名、年齢、所属、電話番号を記入のうえ当協会宛
Eメール event@japan-tunnel.org または FAX03-5148-3655 をもってお申込下さい。受付番号をお知らせします。
7. 支 払 方 法：上記申込ののち、郵便振替用紙通信欄に行事名と参加者氏名、受付番号を記入のうえ下記へお振込願います。現金書留でも結構です。

行事名 第4回地相入門講習会

郵便振替口座 00160-7-196331、加入者名 一般社団法人日本トンネル技術協会
住所 〒104-0045 中央区築地 2-11-26 築地 MK ビル 6階 TEL:03-3524-1755 FAX:03-5148-3655

8. その他：①テキスト(参加費に含む)は「トンネル技術者のための地相入門（土木工学社発行）」と当日使用のパワーポイントからなります。
- ②参加費の払戻しはいたしません。ただし、団体会員と一般の参加者の代理参加は可能です。
- ③申込みに係る個人情報につきましては、他に利用するものではありません。
- ④現在、土木学会へ継続教育プログラムの認定を申請中です。結果は後日、webサイトに掲載します。

会場案内図

【日本印刷会館へのアクセス】

〒104-0041 中央区新富1丁目16番8号

Tel : 03 - 3551 - 5011



一般社団法人日本トンネル技術協会催物受付係りあて

【e-mail event@japan-tunnel.org】

【FAX 03-5148-3655】

「第4回地相入門講習会」申込書

下記のとおり申込みいたします。

参加者氏名： <small>ふりがな</small>	年齢：
会社名：	TEL: — —
所属役職：	
会員の種別： <input type="checkbox"/> 個人、 <input type="checkbox"/> 団体、 <input type="checkbox"/> 一般（非会員） <input type="checkbox"/> にレ印刷いたします。	
備 考：	

【参加申込者への事前アンケート】

以下の事前アンケートについて任意でお答えください。なお、皆様の事前アンケートの回答については、時間の関係上すべてにはお答えできない場合がありますが、適宜、最後のまとめ（質疑応答）の中で話題として取り上げ、簡単な解説をさせていただくことを考えております。

【設問1】

日頃、トンネル工事に限らず貴方が「地形」に関することで疑問に思うことがあれば、簡単にその内容や理由等を記入してください。

【設問2】

現在、貴方が担当するトンネルの計画や工事で、「地形」に関わる課題や疑問等があれば、周辺地形図とともに記入してください。

① トンネル工事の概要と課題

（仮題例）坑内斜面状上部に地すべりがあり、トンネル施工への影響が懸念される。

② 問題となる坑口部やトンネル区間周辺の地形図（トンネル位置と周辺地形が判る資料等）

トンネル技術者のための地相入門講習会プログラム

- 9:55～10:00(5) はじめに
木谷日出男
国際航業(株)フェロー
(内容：講習会の目的と概要説明)
- 10:00～10:30(30) 地相は人相 山の性状
大島 洋志
国際航業(株) 最高技術顧問
(内容：トンネル計画の基本、主に鉄道トンネルの路線選定事例から)
- 10:30～11:15(45) 地形情報の利用
向山 栄
国際航業(株)防災部 技術開発担当部長
(内容：地形図の有する情報とその利用、地形・地質情報の基礎的判読技術)
- 11:15～11:45(30) 段丘・崖錐・扇状地とトンネル
片山 政弘
(株)熊谷組土木設計部地質グループ部長
(内容：段丘・崖錐・扇状地の地形的特徴と工学的課題、事例解説)
- 11:45～12:15(30) 地すべりとトンネル
服部 弘通
大成建設(株)土木本部土木技術部トンネル技術室次長
(内容：地すべりの地形的特徴と工学的課題、事例解説)
- 12:15～13:00(45) 昼食
- 13:00～13:30(30) マスムーブメントとトンネル
泉谷 泰志
清水建設(株)土木事業本部地下空間統括部主査
(内容：マスムーブメントの地形的特徴と工学的課題、事例解説)
- 13:30～14:00(30) 断層とトンネル
桑原 徹
(株)大林組東京本社技術本部技術研究所 地盤技術研究部副部長
(内容：断層の地形的特徴と工学的課題、事例解説)
- 14:00～14:30(30) 火山とトンネル
稲葉 武史
鹿島建設(株)技術研究所 岩盤・地下水グループ専任次長
(内容：火山の地形的特徴と工学的課題、事例解説)
- 14:30～14:40(10) 休憩
- 14:40～16:20(100) トンネル周辺等の地形図を用いた主な地形種の地形判読実習 (グループ演習)
各講師
- 16:20～17:20(60) まとめ (質疑応答)
進行役 木谷 (国際航業)、各講師
(内容：各講演内容に関わる質問、事前アンケートへの回答、ほか)